

町では、千年以上育まれてきた国見の歴史・伝統・文化をこれから百年後に伝えていくため、これらを生かした「歴史まちづくり」の取り組みを進めています。町や地域が行うこの取り組みについて、毎月お伝えしていきます。

【歴史まちづくり推進室 ☎ 585-2967】
【あつかし歴史館 ☎ 585-4520】

歴史まちづくりさんぽ Vol.5

～千年の歴史を未来へ～



受賞されたみなさん

国見町中尊寺蓮育成会（氏家博昭会長）主催による「第4回国見町に咲く中尊寺蓮絵画コンクール」の表彰式が10月7日、あつかし歴史館で行われました。今年の応募作品は200点。9月5日に審査会を行い、入賞作品57点（最優秀賞4点、優秀賞12点、入賞41点）を選定しました。表彰式では、最優秀賞と優秀賞の受賞者に賞状と記念品が手渡されました。

第9回国見町歴史まちづくりシンポジウム「地域の文化遺産を活かした歴史まちづくりに向けて」 “あまり知られていないけれども、実はすごい国見の話”を開催

10月14日、観月台文化センターで9回目となる歴史まちづくりシンポジウムが開催されました。3名の講師により講演が行われ、その後パネルディスカッションが開催されました。今回はその内容をお知らせします。

『国見にはかつての日本の原形がよく残っている』
～私の見た国見の歴史資源～ 民俗研究家 結城登美雄氏

『日本はかつて小さな村の集まりでした。国見は16の村（大字）の集まり。今なお生活の基本は“村”。ローカルとは自然と向き合っており、暮らしの中で、国見の集落を歩けば日本の村がどのように成り立ち、人々が何を大切に生きてきたか知ることができるのです』

『身近なお寺や神社の半数が文化財になる可能性がある』
～国見の社寺建築～ (株)グリーンシグマ 梅嶋 修氏

『昨年度の小坂、森江野、大枝の建造物調査の結果、1718年建築の徳江観音寺観音堂、1700年代後半建築の内谷薬師堂など非常に古い建築物が確認されました。町内の社寺209棟のうち、半数以上の107棟が文化財登録の基準である築50年以上を満たしているのです』



『自分達にとって何が大切か』地域が主役で考える～歴史文化基本構想について～文化庁調査官 村上佳代氏

『地域の伝統的な建造物や物件は、5年で約10%が失われます。指定されていないと「価値がない」と考え壊されてしまうのです。大切なものを残すため、地域が自らどうしていくか考える必要があります』

～パネルディスカッション～
＜コーディネーター＞弘前大学大学院 平井太郎氏

『国見は、人々のおもてなし、手作りのものが素晴らしい。再びここに来るとしたら“人、笑顔”に会いに来る。国見の魅力は“生きた文化と人”』

今後、歴史・伝統・文化を守り活用していくために、まずは自分たちで大切なもの、残したいものをリストアップしてはどうかとの議論が行われ、会場からも様々な意見が出されました。参加者からは「身近にあっても見逃している大事なものに気付くことができた」「何が大事で何を次代へつないでいくか考えさせられた」との声が聞かれました。



歴史まちづくりさんぽ Vol.5

あつかし歴史館×大木戸歴史村づくりの会
「あつかし歴史祭～あつかし芋煮会～」

◇日時 11月23日(日)・祝
午前10時から午後3時

◇場所 あつかし歴史館

☆芋煮とかまどで炊いたご飯を食べて収穫をお祝いします。お子さんも遊べる鉄道模型や工作のほか、大木戸の歴史も学べます。ぜひご来場ください。

国見町郷土史研究会小坂方部研修会
「神楽の里“内谷”歴史めぐり」

◇日時 11月19日(日)
午前9時30分(2時間程度)

◇集合場所 小坂農村総合管理センター

☆内谷に伝わる神楽と歴史を歩いて巡ればたくさんの発見が待っています。秋の内谷を体験してみませんか？(申込み・参加費不要)

第4回国見町に咲く 中尊寺蓮絵画コンクール



◆小学生上学年の部 最優秀賞
国見小6年 佐藤 萌果さん



◆小学生下学年の部 最優秀賞
国見小1年 齋藤 陸斗さん



◆中学生上級の部 最優秀賞
県北中1年 清水万優子さん



◆小学生中学年の部 最優秀賞
国見小3年 半澤 奏弦さん



伊藤 青葉さん



菊地 ゆずはさん



野村 慧介さん

国見小学校 (2年生)

小さな天才たち